

2学期がはじまりました…夏の桜の木

昨年、国連のグテーレス事務総長が「世界は沸騰化時代に入った」と発言した通り、異常気象により40°Cを超える地点が連日、発生したり、関東を中心に豪雨と落雷が続いたりするなどこれまでの常識では考えられない気候となってきています。8月後半には巨大な台風が次々と接近し、各地に大きな被害を残しました。長かった夏休みが終わり、久しぶりに子どもたちの元気な声と表情が学校に戻ってきました。全校児童700名、60名の教職員が校舎内に戻ってきて



「いよいよ始まった」と嬉しくもありますが、気を引き締めた次第です。子どもたちの声が増えてきたことで、これまでシーンとしていた校舎が生き返ったように感じました。約40日の夏休み、ご家庭でのお子様のご様子はいかがだったでしょうか？酷暑が続いていましたので、クーラーの入った涼しい部屋でゲームをしていた…という日もあったことでしょうか。それも自然なことではないでしょうか。

私が3月まで毎日通勤していた、白山こども園から小学校までの道路の両側には桜の木があり（右上の写真）春には花が咲き誇り、私を含めそこを通る人の目を楽しませてくれていました。桜の木は春に花を楽しませてくれる時には注目されますが、そのあとはあまり意識をされることはないのではないのでしょうか。しかし、桜の木にとって、夏は花芽を形成し、養分を蓄える大切な時期だそうです。そして、しばらく休眠し、冬の寒さに耐えてまた来年の春にきれいな花を咲かせるのだそうです。夏休み…。子どもたちはそれぞれの家庭という安心感の基地の中で1人1人、目には見えない花芽を形成し、養分を蓄えてくれたことと思います。

2学期は1年間の中で一番長い学期です。行事面でも学習面でも多くのことを経験しながら栄養をしっかりと蓄える大切な時期です。そして、後に大きな成長となって花を咲かせてくれることと思います。2学期もどうぞ、ご理解・ご協力をお願いします。

9月1日防災の日

1923年9月1日の関東大震災が発生したことを機に9月1日は防災の日と制定され、防災について考える日とされている。本年8月8日に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。このことにより、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が高まっていると考えられたことから、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。その後も、関東や東北を中心に地震が相次いで発生しています。一連の地震を機に各ご家庭でも非常持出用や食料・水などのご準備をされたり、万一、地震が発生したときに家族がどう連絡を取り合うのかなどを話し合ったりしていただいたことと思いますが、今一度「登下校途中であればどうするのか」についてもお話をいただければ幸いです。